くらしの中の税金（集め方と使い道）

わたしたちは、どんなときに税金を納め、税金は何に使われているのだろう

税金を納める場面（例）

1 買い物をしたとき



品物の代金といっしょに
消費税を払う

2 働いて収入を得たとき



所得税や住民税を
納める

3 家や土地をもっているとき



固定資産税を
納める

集める

国・都道府県・市区町村

**税金を集めて、
みんなのために使う**

使い道は、選挙で選ばれた
代表者が、国会や議会で
話し合って決める（予算）

使う

税金が使われる場面（例）

1. **学校・教科書**
   小・中学校の教科書は無償
2. **道路・信号**
   安全に通れるように
3. **消防・救急**
   火事や急な病気のときに
4. **ごみの収集**
   集めて処理する
5. **公園・図書館**
   だれでも使える
6. **病院の費用の一部**
   健康を守るために

使い道を決めるのは？

税金を納めることは、日本国憲法で定められた国民の義務の一つ

住民（わたしたち）
税金を納める・選挙で投票する

→

代表者
国会議員・議会の議員など

→

国会・議会
予算を話し合って決める

→

税金の使い道
限られたお金を何に使うか

※ 模式図。税の種類と使い道は一部の例。税率などの数は示していない。